

番号	1	事業名	地すべり対策事業		市町村名	佐久市		路河川名	信濃川水系 志賀川	箇所名(ふりがな)	駒込(こまごめ)					
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>○当該地すべりは、過去に発生した大規模地すべり地の副次的なブロックであり、第三紀火山岩起源の固結度が低く、劣化しやすい崩積土からなる地質である。</p> <p>○平成18年7月豪雨の影響により、すべり面への間隙水圧の急激な上昇が発生し、これをきっかけに活動が活発となり地すべりが発生した。活動中であった地すべりは、ブロックの末端部が一級河川志賀川に面しており、地すべり活動により多量の土砂が流出した場合河道閉塞により湛水地が形成される可能性が高く、下流の人家、道路に甚大な被害が及ぶ恐れがあるとともに、重要な観光資源に支障をきたすことは地域にとって、非常に大きな損失であった。</p>												②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)		評価
	<p>○集水井は地下構造物であるため、地表における自然環境の維持に寄与している。</p> <p>○災害発生から5年経過したが、地すべり発生箇所には緑が増え自然環境が整ってきている。</p>													B		
事業目的	<p>○事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景</p> <p>・平成18年の豪雨時に、地すべりブロックの沈下が顕著となり、主要地方道下仁田浅科線の通行規制を余儀なくされた。主要地方道下仁田浅科線は隣接する群馬県へ通じる幹線道路として1tを超える緊急輸送自動車の唯一通行が可能な道路であり、また県境にある牧場。住宅等に物資を運ぶ唯一の路線である。</p> <p>・今後の地すべり活動によって、一級河川志賀川に多量の土砂が流出する恐れがあったため、集水・横ポーリング工や銅管杭工を施工し、土砂災害の早期復旧と被害の拡大防止を図ることとした。</p>												③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)		評価
	<p>○地すべり防止施設は長野県が定期的に点検管理を行っている。</p> <p>○地域住民には、側溝清掃の協働作業や県道沿線の草刈り等お願いをしている。</p>													B		
事業概要	当初工期	H18~H23	費用対効果(当初時)	1.4	事業費(千円)		財源内訳(千円)									
	最終工期	H18~H23	費用対効果(評価時)	1.6	上段:当初/下段:最終	国庫	その他	県債	一般財源							
	当初計画内容(主な工種)	集水井工 7基 集水・横ポーリング工 L=10,500m 銅管杭工 78本 ほか			1,134,200 (内 災害関連 334,200)	567,000		453,600	113,400							
	最終事業実績(主な工種)	集水井工 6基 集水・横ポーリング工 L=11,300m 銅管杭工 49本 ほか			1,006,000 (内 災害関連 334,200)	503,000		402,400	100,600							
事業期間の延長、短縮理由と分析	○当初の工期内で事業を終了させることができた。												④地域住民等の評価	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)		評価
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	<p>○当初は滑動直後であり、概算により全体計画額を算出した。</p> <p>○平成18年度に災害関連緊急地すべり対策事業として集水井工等を実施した。</p>													改善措置の必要性		○現在までのところ改善措置の必要は認められない。
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)											評価				
	直接的効果 (定量的・定性的)	<p>○交通の安全性向上(歩行者等の安全確保、災害に強う道路の確保)・・・事故件数、災害時通行止件数等</p> <p>・地すべり発生時、(主)下仁田浅科線が全面通行止めとなったが、地すべり対策工事により本線の安全が確保された。</p> <p>○災害の防止</p> <p>・対策工事の実施により、当面の安全が確保され大規模地すべり発生の危険性が低減した。</p> <p>・二次災害の発生が危惧されたが、当対策工事により回避することができた。</p>											B			
		間接的効果 (定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	○生活環境・自然環境への影響											部局意見	地域の重要路線でもあるため早期の対策が行われ、ライフラインの確保ができた。 引き続き迅速・効率的な事業実施を行う。	
	○周辺観光地等への影響など											技術管理室意見	地すべり活動は沈静化しており、一定の事業効果が認められる。			
											県の自己評価	○事業目的を概ね達成				